

理解する＆伝えるチカラを磨いて

コミュニケーション力を高めよう

就職活動では、志望企業がどんな人材を求めているのか、

相手の伝えたいことをよく理解したうえで、自分の強みや熱意を相手にわかりやすく伝える「コミュニケーション力」がとても大切です。

就職活動で学んだコミュニケーション力は仕事でも役立ちます。

それではコミュニケーション力を高めるコツを確認しましょう。

就活にも仕事にも共通する コミュニケーション力

就活と入社後に
共通する

コミュニケーション力

就活

入社後

共通

相手の伝えたいことを
理解するチカラ

自分の気持ちをわかりやすく
相手に伝えるチカラ

コミュニケーション力

ビジネスパーソンの「コミュニケーション」はあいさつ、会議や商談、クレーム対応、報告書作成などさまざまな場面で必要とされ、意味も幅広く、漠然としています。そこで今回はコミュニケーション力を、①相手の伝えたいことを理解するチカラ ②自分の気持ちをわかりやすく相手に伝えるチカラとどちらで話を進めます。

就職活動における会社説明会や採用試験はまさに理解する力と伝える力を試されます。コロナ禍でオンラインによる面接も増えていきます。必要なポイントをしつかり

と理解し、仕事への熱意やあなた自身の強み、魅力が十分に伝わるようなコミュニケーション力を存分に発揮できるようにしましょう。そして入社後も、実際に働くうえで社内外のさまざまな関係者とのコミュニケーションが発生します。就活でしっかりとコミュニケーション力を身につければ、仕事でも必ず活かすことができるでしょう。とはいって、コミュニケーション力を高めるには、自分から意識的に対応を変える必要があります。今回はそのコツを紹介します。

就職活動で前述した2つのチカラを磨き、入社後に働くうえでも役立つコミュニケーション力を高めましょう。



コツ1

企業の考え方から求める人物像を知る

まずは企業の理念や特徴を知り、求める人材を理解しましょう。

相手（企業）が伝えたいことを理解するためには、企業がどんな理念・ビジョンを掲げているのかを事前に調べておくことが大切です。企業の理念やビジョンには、企業が叶えたい将来の社会の姿、つまり最も伝えたいことが表れています。

もう一つは、その企業ならではの強みや特徴、つまり他社との違いを知ることです。そして、どんな社員が活躍しているのかをイメージしてみましょう。そうした社員の姿こそが、その企業が求める「人物像」の姿といえるでしょう。

コツ2 **自身の強み・得意を具体的に知っておく**

次に過去の経験から、自分ならではの長所を把握します。

就活であなた自身の強みや得意分野を相手にきちんと伝えられていますか？ それらを伝えるためにはまず、自分が長所や強みを理解することから始まります。過去に課題を乗り越えた・克服したエピソードや成功体験、そこから得られた気づきを具体的にノートに書き出していきます。思っていたことを文字にするだけで、自分の強みが具体的になっていきます。

そのうえで、伝えたい強みをコツ1でイメージした企業の「求める人物像」と重ね合わせてみましょう。

働くうえで配慮を求める場合、必要なことだけを伝えるだけでなく、自分で工夫することで解決できることがあれば伝えましょう。また、過去の経験から具体例をふまえて説明することも大切です。

企業としても可能な配慮の範囲が広がり、対応策を検討しやすくなります。

また、自ら考え、主体的に対応する姿勢を見せてることで積極性をアピールすることにもつながります。

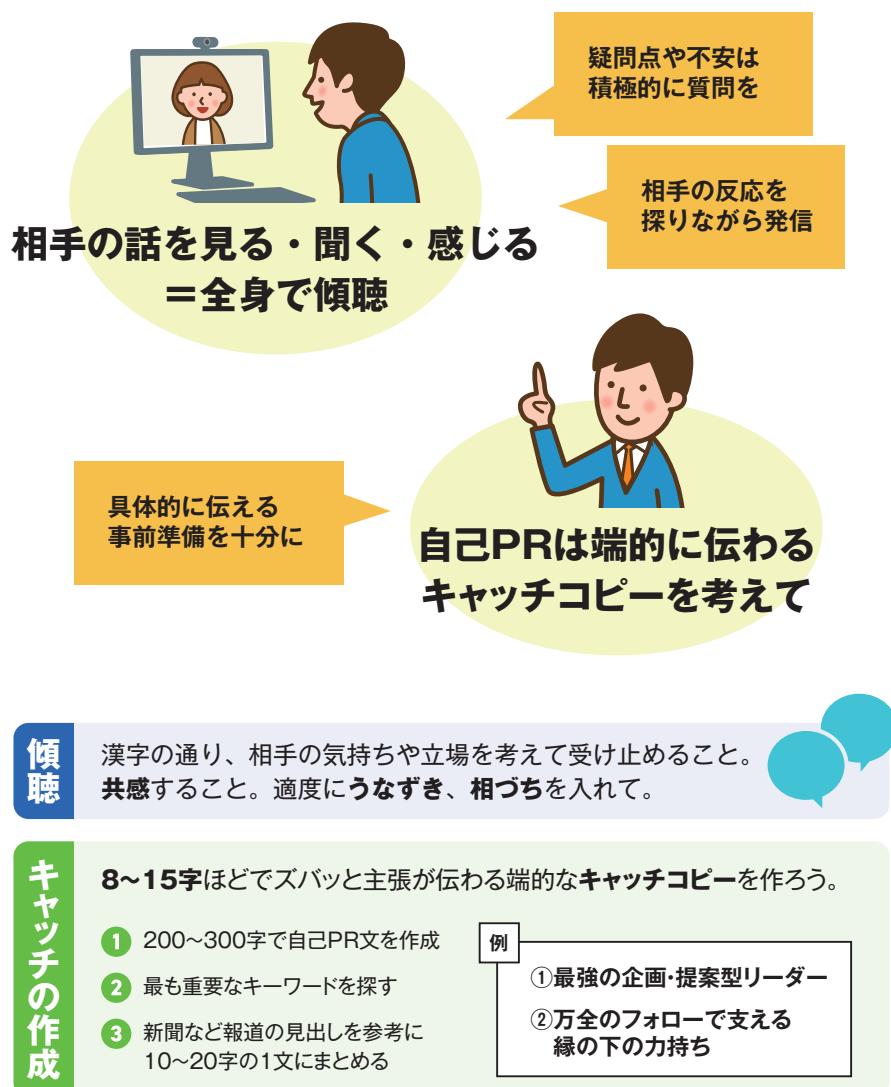
ミニ
コラム

**自分で工夫できる
ことを伝える**



コツ3 面接で役立つ傾聴と発信テクニック

仕事のやりとりで重要な傾聴と発信のテクニックを面接で活かしましょう。



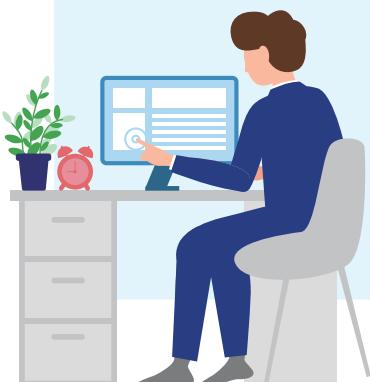
仕事も面接も、相手の立場や気持ちに寄り添う傾聴と十分に伝わる発信が重要です。傾聴とはただ熱心に話を聞くことではありません。話し手がどんな意図や気持ちで話しているか、相手の立場を考え、心（意識）も相手に向けて全身で話を受け止めます。発信では一方的に言葉を並べず、事前練習した内容に傾聴で得た情報を合わせ、相手がわかりやすい順序で具体的な数字や事実を伝えます。

傾聴・発信の練習としては、事前に調べたことなどをノートにまとめ読み返してみることが大切です。また、自己PRをひと言で端的に表すキャッチコピーを考えておくことも相手にわかりやすく伝えるコツです（左の例を参照）。

なお、準備した自己PR文や志望動機は必ず第三者に確認後、客観的な意見をもらいましょう。伝わりやすさがぐんと進化します。

オンラインの特性をふまえて入念な準備＆柔軟な参加を

本番では、多少うまくいかなくても焦ることはありません。直に対面するよりオンラインは態度や表情が伝わりにくいので、言葉ははつきり簡潔に、リアクションは大きめに。困ったことは遠慮せずに相談してみましょう。



昨今はオンラインの面接も増えています。まず端末やソフト、通信回線を本番で支障なく使えるかを確かめます。画面の背景は直接にふさわしい雰囲気かを確認し、事前に必ず面接を想定した練習をしましょう。

企業の人事
に学ぶ

コミュニケーション力アップのコツ



ソフトバンク株式会社
人事本部 採用・人材開発統括部
人材採用部 採用企画課
服部 美佳さん

周囲とのかかわりが 入社後の活躍を伝える アピールに

当社では様々なプロジェクトに取り組んでおり、チームでの連携が不可欠です。多様な考えの社員といかにスムーズにコミュニケーションを取るかが仕事をうまく遂行するうえで大事なコミュニケーション能力となります。

今までの人生や大学生活で自分が周りとどう関わってきたのかをとても重要視しています。ぜひそのエピソードをお話しいただけると「この人がソフトバンクに入社したら活躍できるかな?」というイメージがより湧きますので、ぜひアピールしていただければと思います。



マイクロンメモリ ジャパン合同会社
人事部 採用担当
高木 澄江さん(左)、石井 麻子さん(右)

就活も仕事も 誠実な対応と 積極的な発信を

当社が求めるコミュニケーション能力のひとつは、お互いを大切にする配慮をしながら相手に接することです。若手や少数派の意見も取り入れて、会社をより良い方向へ変化させようとする文化があるため、積極的に自分の意見を発信していくことが歓迎されます。

たとえば、チームに相談や報告をしながら物事に粘り強く誠実に取り組み、周囲を巻き込んで発信力の強化につなげる姿勢も大切です。就活でも仕事でも、物事に誠実に対応することも共通の重要な項目だといえます。



株式会社キャメル珈琲
三鷹シェアードサービスセンター
五十嵐 卓也さん

大事なのは 思いやりの気持ちで 接すること

当社では、協調性と報・連・相を大切にしています。求めるのは「素直な心・何でも一生懸命・継続する意欲」で、「明るくあいさつ・ミスマーケトトラブルをすぐに報告・チーム内でこまやかに連絡・わからなければ遠慮せずに相談」できる方です。

コミュニケーションは相手を思いやる気持ちだと思います。そのためには、相手の話を遮らずに最後まで聴き、迅速かつ簡潔に要点を伝える力も重要です。会社が求める能力は日々、年々、変化します。何事にも前向きに、チャレンジする気持ちを大事にしましょう。



コミュニケーション力を磨けば就職後も役立つ

就職活動中から理解し、伝えるチカラを磨くことは、就職後の仕事にも必ず役立ちます。説明会、面接と、合否にかかわらず一つずつ経験を積み重ねるたびに振り返り、気づいたことから学び、次に活かしましょう。皆さん納得いく活動になるよう、自分を信じて頑張ってください。